



「柿、飾ってるの？」正門横の干し柿が、空気も乾燥してか、徐々に水分が飛び小さくなっているようにさえ感じます。当法人の評議委員・水谷先生のお庭に渋柿が20数個実り、ようやく念願の干し柿を作ることが出来ました。冬の自然ならではの加工品、甘みがギュッと凝縮されることでしょう。約1ヶ月で完成すること、仕上がりが楽しみです。(ちなみに柿の木は、千疋屋の干し柿の種から育てたそうです)

